

NPO 緑の会

特定非営利
活動法人
NPO緑の会
取手市小文間
3838-1
TEL 0297-
72-8791

**地震被害にあわれた皆様に
心よりお悔やみとお見舞いを
申し上げます。**

この度、我が国に起こった東北関東大震災による災害は本当に未曾有のもので、会員の皆様や関係者の皆様はじめ、ご親戚・知人・友人には少なからず被害にあわれた方がおられることと思います。

被害状況の報道をみるにつけ胸が痛みます。それでも健気に力強く復興への一歩を踏み出す人々が多いことに感銘を受けるとともに、日本人の底力を感じています。

全国から物資やボランティアなど援助の手が差し伸べられてはおりますが、被害は甚大かつ広大でありますから、長期的なあらゆる支援が必要かと思われまます。

会員の皆様には、それぞれ個人のお立場で何らかの支援を実施されておられることと思いますが、NPO緑の会としても、何かしら可能な援助の方法を皆様と検討したいと考えておりますので、その際はよろしくお願いいたします。被害にあわれた皆様に一日でも早い復興と平穏な日々をくることを祈っております。

ここに改めて被災者の皆様に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

NPO緑の会理事長 恒川敏江

去る2月27日、かねてより計画していた、わがNPO緑の会と縁の深い、いわば姉妹クラブとも云える九つの環境団体による「第一回緑の会会長連絡会」が(株)EM生活の鈴木智氏を来賓に迎えて、高萩市「たかはぎ緑の会」代表佐川淑子宅で開催されました。午前11時に佐川宅に集合した一同は、まず佐川代表はじめたかはぎ緑の会の皆さん自らによる心のこもったおいしいお手製の料理で歓迎を受け、皆

さらなる連携を目指して 2月27日 第一回緑の会会長連絡会を開催 高萩市:たかはぎ緑の会代表佐川淑子宅で



連絡会の様子



勢揃いした参加者の皆さん

参加者名簿		
NO	会の名称	お名前
1	阿見緑の会	石川 泰子
		黒田 文子
2	石岡緑の会	大倉 みや子
		鈴木 せつ子
3	いなしき緑の会	吉田 昌枝
4	牛久緑の会	金丸 あつ美
5	たかはぎ緑の会	佐川 淑子
		加賀谷 慶子
		山口 杏子
6	とね緑の会	植田 美枝子
		岩下 長子
7	NPO緑の会東久留米つつじ会	藤本 公子
	NPO多摩の自然環境を守る会	定免 トキ
8	ひたち緑の会	月沢 弥生
9	NPO緑の会	恒川 敏江
		福留 一徳
		恒川 芳克
		若林 正子
※	(株)EM生活	鈴木 智

楽しい昼食会の後、会議が行われ、まずNPO緑の会恒川理事長から挨拶をかねて今回の会議開催を呼びかけた主旨について次のように述べました。



説明する鈴木氏

①一月に開催された(株)EM生活主催の研修会に出席して、日常生活のあらゆる場面で常にEM商品の活用をしていくことの必要性を強く感じたこと。

②関係の深い今回出席していただいた団体が今後お互いに情報交換を密にして、より良い活動を進めて行きたいこと。

③機会をとらえてこの会のメンバーで沖縄へのEM研修旅行を実施したいこと。

次に、改めて自己紹介の後、各会の活動状況の報告があり、情報交換と質疑が活発に行われ、

NPO地球環境共生ネットワーク 第12回通常総会開催される

NPO地球環境共生ネットワーク第12回通常総会は、3月5日(土)東京都港区の芝公園フロントタワー会議室で開催されました。

決議された平成23年度事業計画の概要は次の通りです。

1.重点政策

①基本的には全国各地で進行中のEMによる環境改善活動を可能な限り発展させるよう支援します。

②善循環の輪の拡大充実に努めます。

③昨年末で参加グループは146グループ(約22万人)になりました。

本年は「善循環の輪の集い」を全国8カ所で行い、1500グループ(約30万人)の輪を目標にします。

④地区委員会は各地区5カ所で行い、各地の情報交換の場とします。

⑤本年は従来の上級インストラクター養成講座を一時中断して、各県・各地域の世話人体制づくりを支援するため、各県の世話人及び世話人を補佐して頂く方々を対象に、地区委員会と上級インストラクター養成講座を兼ねた「地区委・世話人特別講座」を開催します。

受講者には各県・各地域でEMの勉強会を実施して頂き、EMの輪を拡大して頂きます。

※「善循環の輪の集い」も平成17年に新潟で第1回を開催以来、本年末で50カ所になり、今後は、EMの輪が薄い所を充実する必要があります。



U-ネット総会の様子

③第2回「全国一斉EM団子・EM活性液の投入の日」を実施します。

④海の日(7月18日)をEMの日(仮題)と定め、すべての「善循環の輪」の仲間にも呼びかけ、それぞれの「海・湖・河川」にEM団子・活性液を投入す

るイベントを実施します。⑤誰でも身近なところでの浄化活動(例えば、自宅の排水溝・トイレ・風呂など)に参加できるように工夫します。

※昨年はU-ネットで参加グループ340、参加人員15000人により、EM団子53万個・EM活性液320トンを各地の海・湖・河川に投入し、その成果を名古屋で開催されたCOP10(生物多様性交流フェア)に出展し「COP10のパートナーシップ事業」に認定されました。

④サステナブル・エコマーケット(略称S・EM研究所)の活用を拡大します。

※法政大学大学院特定課題研究所として、外川洋子教授の研究室にS・EM研究所を新設し、その中に「EM研究会」を設立させ、企業および諸団体の参加を求め、新しいEMの輪を拡げていきます。

⑤EM環境学習の各種資料を用意しその推進を継続します。

※小・中・高の子供達へのEMの良さの浸透は、将来につながるだけに大変重要です。

2.善循環の輪の拡大と組織づくり

①「善循環の輪の集い」を長野(3月)、宮城(4月)ここま

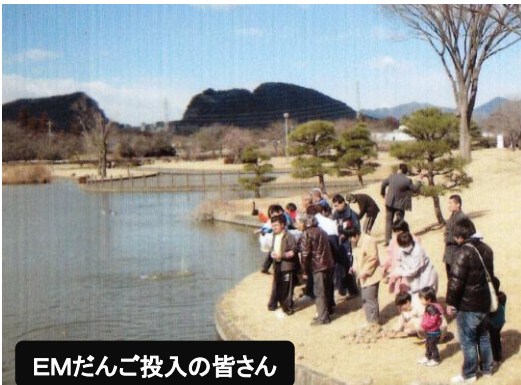
では地震の影響で延期、長崎(5月)、三重(8月)、岡山(9月)、徳島(10月)、宮崎(11月)、福井(12月)で開催する。

②地区委・世話人特別講座を、善循環の輪の集い翌日に長野(3月・関東・甲信越)、宮城(4月・北海道・東北)ここまでは地震の影響で延期、長崎(5月・九州・沖縄)、三重(8月・東海・北陸)、岡山(9月・中国・四国・近畿)で開催する。

なお、U-ネット役員には、NPO緑の会関係者から次の方々が就任しています。運営副委員長(善循環の輪代表世話人)に吉澤文五郎、運営委員(広報)に村上和生、運営委員(関東地区顧問に鈴木せつ子、運営委員(関東東部地区世話人)に恒川敏江、運営委員(茨城県世話人)に恒川芳克、運営委員(千葉県世話人)に村上奈美。

石岡市・視覚障害者施設「光風荘」の皆さんが柏原池の浄化に取り組む

石岡市・視覚障害者施設「光風荘」に入所者の皆さんが、山王川の水源「柏原池」の浄化に皆さんで作った「EMだんご」を投入して池の浄化に取り組んでいます。



EMだんご投入の皆さん

山王川は霞ヶ浦に流入していますので、私たちが取り組ん

でいる「霞ヶ浦の浄化」にも貢献する活動になっていきます。この浄化活動は、施設入所者の皆さんが「柏原池の里親」となって、地域のボランティアの皆さんも加わり、毎回20名〜25名でEMだんご1000個から1500個を昨年8月から11月まで月に1度投入してきましたが、EMが活発に活動する本年3月から引き続き投入を開始しています。

編集後記

この度の東北関東大震災は、未曾有の災害と犠牲をもたらしました。今なお多くの方たちが住む家もなく困難な状況下で路頭に迷っています。そんな中でも再建に向けて力強く立ち上がる人々の姿も少なくて支援する必要があると感じずにはいられません。お互いに何ができるか考え行動したいものです。

KF